

様 式 F - 7 - 2

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実績報告書（研究実績報告書）

所属研究機関名称		大妻女子大学
研究 代表者	部局	家政学部
	職	教授
	氏名	水谷 千代美

1．研究種目名 挑戦的萌芽研究 2．課題番号 15K12308

3．研究課題名 寝たきり高齢者のQOL改善のための機能性繊維の応用に関する研究

4．補助事業期間 平成27年度～平成29年度

5．研究実績の概要

我が国は高齢化が急速に進み、高齢者を受け入れる施設、医療現場の人材不足、介護負担の増大などの問題が山積している。その中で、我が国はデンマークやスウェーデンのような福祉先進国と比べて、寝たきり高齢者数が多いことが特徴である。デンマークは福祉大国として高齢者福祉が進んでおり、介護者の負担の軽減を考慮した介護器具の開発も進んでいる。このような背景から、我々は日本とデンマークの介護制度や介護用品について現地で調査を行った。補助器具を作る補助器具センターやそれを認定するデンニッシュスタンダード、高齢者施設を訪問し、高齢者自立の取り組み、高齢者の残存機能と介護用品の種類、介護用品の認定の比較などについてインタビュー調査を行った。その結果、高齢者は不自由になった体の部分の残存機能を活かすような補助器具が多く使われていた。また、介護者に負担がないように、デンマークは高齢者をベッドから車椅子に移動するリフトやアームレストやフットレスト着脱可能な介護用椅子などが使われており、残存機能に対して補助器具の使い方が優れていた。また、デンマークは市の判定委員会が高齢者の身体機能を調べ、高齢者へのサービス内容を決定し、実際の介護はサービス提供者が行っていた。市の判定委員会、サービス提供者、利用者の三者が連携して行う制度であった。

さらに、デンマークの高齢者施設にて機能性繊維を用いて、尿臭に対する消臭効果を実際の介護現場で評価した。尿臭は、尿を貯める導尿バックから発生する。導尿バックに消臭抗菌抗アレルギー繊維を用いて評価した結果、1時間程度で臭気強度は低下し、快不快度は不快から無臭に変化して消臭効果が実証できた。

6．キーワード

寝たきり高齢者 局所消臭システム 消臭抗菌抗アレルギー繊維 身体起源の悪臭

7．研究発表

〔雑誌論文〕 計0件

〔学会発表〕 計2件（うち招待講演 0件／うち国際学会 1件）

1．発表者名 水谷千代美
2．発表標題 デンマークの介護用品と機能性繊維の展開
3．学会等名 第69回日本家政学会
4．発表年 2017年

1 版

1. 発表者名 Chiyomi Mizutani
2. 発表標題 Applications of functional fibers for bedridden elderly people
3. 学会等名 SLEEP ENVIRONMENT International Symposium (国際学会)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計0件

8. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

計0件（うち出願0件／うち取得0件）

9. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会 Healthy and Sleep Stimulating Bed Micro-Environment	開催年 2017年
---	--------------

10. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
デンマーク	-	デンマーク工科大学	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-

11. 備考

-